成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度

元年度

市町村名	川口市					
提案事業名	川口市立グリーンセンター開園50周年関連事業					
事業期間	29年度 ~ 29年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 川口市立グリーンセンターへの入園者数					
	(成果検証の具体的な方法) 目標値(入園者数)に対する実績値の伸び率を計上。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	B	
	従前値 (28年11月時点)	41,824人	目標値 (29年11月時点)	60,752人	実績値 (29年11月時点)	56,800人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市広報紙、市掲示板、市ホームページ、チラシ等で周知。				

【事業効果の整理・原因分析】

平成29年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 開園50周年記念事業	○	50周年記念式典、記念イベント等を行い、グリーンセンターの歴史や魅力を発信し、前年度同月比14,976人の入園者数の増加となった。
② グリーンセンター施設整備事業	○	施設の利活用のため、大集会堂や日本茶屋を中心に老朽化した施設改修を行った。また、その周辺の植栽、樹木剪定や管理を行ない環境整備が図られた。
③		
④		
⑤		
⑥		

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	事業時期は11月という冬に近づくにつれ入園者が減少していく時期に、実績値は80%にわずかに届かなかったものの、79%の実績を残すことができ入園者数の増加が図られ施設の魅力が周知できたこと。老朽化した施設やインフラ改修等を行い、施設を活用することが可能となったこと。
実施事業について 成果が不十分である点	土・日曜、祝日に主たるイベントを開催したことで、入園された方々の満足度は非常に高いものになったが、イベント費用と宣伝広告費用のバランスを見たとき、効果的な宣伝広告をもっと期間前及び期間中も費用を費やして行なえなかったことによる入園者の伸び悩みが生じたこと。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	更なる市民ニーズにこたえるため、今後の施設の機能や役割等を明確にして整備を進めていくこと。また、その施設を活用した例えば園芸教室やネイチャー教室などのイベントを増やしていくことで「グリーンセンターのその施設に行けば何かやっている」という期待感をもたせること。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない